

本校の 2 学年が 7 月 9・10 日の 2 日間 SSH 学術研究の一環として、東京方面へ校外研修に行ってきました。自分の課題研究のテーマ設定から、研修先の選択、訪問先との交渉までを生徒が主体的に行い、研修を行ってきました。今回は研修 1 日目の夜に行われた学術講演会の内容やアンケート結果等についてお伝えします。

・学術講演会 (A グループ)

講師：斑目健夫 先輩(24 回生、青山まだらめクリニック院長)

横谷秀之 先輩(22 回生、日建設設計顧問)

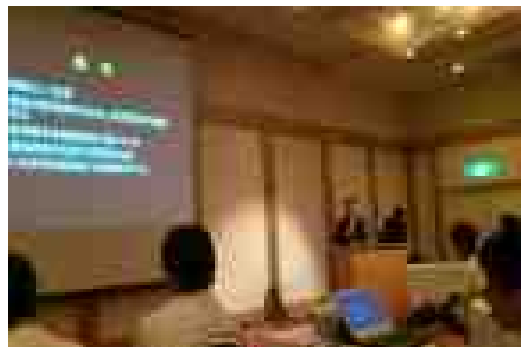
半谷栄寿 先輩(24 回生、元東京電力)

コーディネーター：

芳賀孝夫 先輩(28 回生富士通ラーニングメディア執行部)



今回は「一皮むける体験」についての講演をしていただきました。お話の中では現在の職業や活動について、またどうしてその職業に就こうと思ったのかなど様々なことについてお話をいただきました。その中でも 3 人の先輩方が全員おっしゃっていたことは、「自分の志を持って、強く願って努力すること」という事です。横谷先輩は「こうしたいと強く願えば、チャンスに気が付く」と、また半谷先輩は「手段として大学を選び、自分の人生のために勉強することが大切だ。」と話されていました。自分の進むべき道をしっかりと見据えて努力し続けることが大切であり、その過程が様々な可能性を広げることに繋がるのではないかと感じました。様々な分野で活躍される先輩方のお話を聞き、将来について考える良い機会となりました。



・学術講演会 (B グループ)

講師：伊藤智夫 先輩(26 回生、北里大学薬学部薬剤学教室教授)

中村哲也 先輩(44 回生、日産自動車株式会社製品開発本部)

内海隆樹 先輩(22 回生、元住友銀行)

コーディネーター：

阿部裕徳 先輩(33 回生、西松建設)

B グループでは「青雲の志」というテーマで講演をいただきました。また、一高在学当時のことなど様々なお話を聞くことができました。特に内海先輩の「自分の持っている能力をいかに早く開花させるかが大切だ。」という言葉聞いて、まずは「自分を知ること」が始まりに



なり、自分の適性や能力をどのように発揮していくことができるかを常に心がけ、チャンスを活かしていくことが大切だと感じました。また、伊藤先輩は「よく遊び、よく学べ！」とおっしゃっていて、これは勉強はもちろんのこと、部活や学校行事、学校以外の活動を幅広く経験することが大切だということだそうです。著名な方々は、人間としての器が大きいと聞きます。様々な経験が人間の器を大きくし、困難なことにも対応していけるのだと感じました。

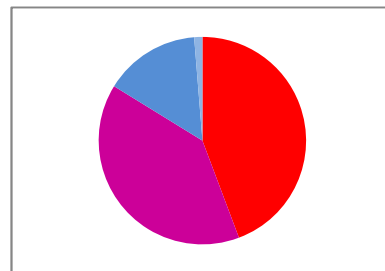


・アンケート結果

このアンケートは校外研修後に行ったアンケートから一部を抜粋したものです。

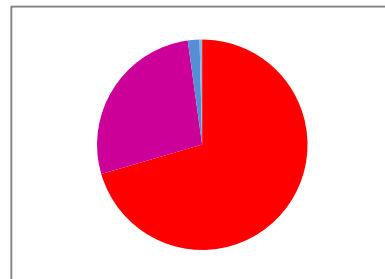
・OB講演会は充実していた

- 赤：よくあてはまる 44.3%
- 紫：ややあてはまる 39.5%
- 青：あまりあてはまらない 14.9%
- 水色：全くあてはまらない 1.3%



・総合的にこの研修に満足した

- 赤：よくあてはまる 70.5%
- 紫：ややあてはまる 27.3%
- 青：あまりあてはまらない 1.8%
- 水色：全くあてはまらない 0.4%



アンケート結果をみるとどちらも「あてはまる」の項目が大部分を占めていることがわかり、多くの生徒がOB講演会に興味を持ち充実した校外研修にすることができたのではないのでしょうか。

・感想

7月9日、10日と2日間にわたって行われた今回の校外研修では、企業や大学の訪問を達し、多くのことを知る事ができた。またOBの方々の講演会では、これから大学など様々な道に進み社会人になっていく上で大切なことを学べたと思う。今回学んだことを存分に生かし、昨年の先輩方を超えられるような研究を作り上げていきたいと思う。

・編集後記

今回の茶畑SRtimes はいかがでしたか？ 先日の校外研修はうまくいった人、あまり納得いかなかった人など様々だったと思います。来月には中間発表も控えていて、実験や発表の準備などそれぞれやらなければならないことがたくさんあります。今回の校外研修が研究などの参考に少しでもなったとしたら、校外研修は有意義なものであったのではないのでしょうか。